

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集1

第16回広島国際アニメーションフェスティバル
国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA)・米国アカデミー賞 公認
いよいよ開催！



© Jean-François Laguionie ジャン=フランソワラギオニー 短編作品特集『大西洋横断』



『ライフ ウィズ ハーマン H. ロット』 監督：チンティス ルンドッグラン



© PIXAR ANIMATION STUDIOS ピクサー最新短編作品『ひな鳥の冒険』



『マノマン』 監督：サイモン カートライト



© folimage ジャパン・プレミア長編『ファントム ボーイ』



『魔王』 監督：ジョルジュ シュヴィッツゲベル

世界中から珠玉のアニメーション作品が広島に集結！

愛と平和の精神のもと世界的なアニメーション映画の祭典である第16回広島国際アニメーションフェスティバルが、JMS アステールプラザ（広島市中区加古町）を会場に、8月18日（木）～22日（月）の日程で開催されます。会場では、応募作品の中からグランプリやヒロシマ賞をはじめ各賞の公開審査を行うコンペティションのほか、特別プログラムとしてピクサーの最新短編作品や日本のアニメーションの大特集など62プログラム、500作品以上が上映されます。また、世界的に著名なアニメーション作家の関連展示やアニメーション制作を学ぶ学生作品の紹介（エデュケーショナルフィルムマーケット）、子供を対象にしたアニメーション制作体験のワークショップなどのサブイベントも充実。本大会の開催に合わせ、前日の17日（水）には、11時からシャレオ地下中央広場での関連イベントや同日夕方にはパレードや前夜祭なども予定されています。この夏、世界中から珠玉のアニメーション作品が広島に集まります！

第16回 広島国際アニメーションフェスティバル

開催期間 平成28年8月18日（木）～22日（月）

会場 JMS アステールプラザ（広島市中区加古町4番17号）

主催 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、（公財）広島市文化財団

共催 国際アニメーションフィルム協会日本支部（ASIFA-Japan）

公認 国際アニメーションフィルム協会（ASIFA）

お問い合わせ先 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局

TEL (082) 245-0245 FAX (082) 504-5658

E-mail: hiroanim@hiroanim.org ホームページ URL: <http://hiroanim.org/>



第16回広島国際アニメーションフェスティバル ～主なプログラム～

ぜひお見逃しなく！

プログラム情報は、実行委員会事務局提供情報および大会公式 web サイトなどにに基づき選びました。詳細は公式大会プログラム等をご照会ください。

主なプログラム（予定）

コンペティション 大ホール 8/18～8/21

今大会には、過去最多となる 2,248 作品の応募が世界 78 の国・地域からありました。その中から 1 次選考を通過した 60 作品のコンペティション（公開審査）が大会期間中に開催され、グランプリ（1 作品、賞金 100 万円）やヒロシマ賞（1 作品、賞金 100 万円）をはじめ、デビュー賞、木下蓮三賞、国際審査委員特別賞、優秀賞などの各賞が選出されます。また、観客の投票による観客賞もあります。審査結果は、大会最終日の 22 日（月）に決定・発表が行われます。世界の巨匠、未来の巨匠の作品の競演による国際映画祭の雰囲気が楽しめます。



前回大会の様子

特別プログラム

国際名誉会長のジャン＝フランソワ ラギオニー氏の特集やピクサーの最新短編作品、日本アニメーション大特集、子どものためのアニメーションなど全 62 プログラム、500 作品以上が上映されます。

■ジャン＝フランソワ ラギオニー短編作品特集（上映とトーク）

大ホール 8/19

今大会の国際名誉会長を務めるジャン＝フランソワ ラギオニー（フランス）は、アニメーション界の巨匠として現在も新作長編の制作に取り組んでおられ、その最中の来日となります。ラギオニーの短編作品の一挙上映とトークが予定されています。

■ピクサー最新短編作品『ひな鳥の冒険』（上映とセミナー）

大ホール 8/19

今夏、長編『ファインディング・ドリー』と共に公開されたピクサー最新短編作品『ひな鳥の冒険』の上映、そして、アラン バリラー口監督とマーク ソンドハイマー プロデューサーによるメイキング・セミナーが行われます。バリラー口氏は、『Mr. インクレディブル』『WALL・E/ ウォリー』『メリダとおそろしの森』のスーパーヴァイジング・アニメーターを務めた方です。

■『ポール・グリモー短編傑作集～ターニング テーブル～』（上映）

大ホール 8/20

ポール グリモーの制作活動と足跡をたどる短編作品集。グリモーご本人が、案内役として登場し、自らが生み出した多くのキャラクターたちと共に作品を楽しみます。

■古川タク特集（上映とトーク）

大ホール 8/21

今大会の国際審査委員であり、国内外で数々の受賞歴を持つイラストレーター、アニメーション作家である氏の代表作品の上映とトーク。＜日本アニメーション大特集の内の 1 プログラムとして実施。＞

■日本のアニメーション大特集＜27 プログラム＞（上映）

大・中・小ホール 8/18～8/22

日本の短編アニメーションを中心に、草創期から現代まで、優れた作品を一挙特集します。『火垂るの墓』（スタジオジブリ制作）や『AKIRA』（東京ムービー新社制作）などの有名作品も上映されます。

■長編『ファントム ボーイ』（2015 年制作）ジャパン・プレミア（上映）

大ホール 8/20

フランス的な、アーティストックで不思議な物語の、長編アニメーション。アラン ギャニョル、ジャン＝ルーフェリシオリ共同監督作品。

■子どものためのアニメーション＜4 プログラム＞（上映）

中ホール 8/20

普段見ることのできない優れた、かわいく楽しい子どものための作品が上映されます。

■世界の子どもの作品＜バラバラアニメーションコンテスト受賞作品＞（上映と表彰式）

中ホール 8/21

ASIFA ワークショップ・グループ国際プロジェクトにおいて、世界の子どもたちが制作した作品、また、広島をはじめ、世界の子どもたちによる作品を上映。あわせてバラバラアニメーション受賞作品の上映と表彰式。

■現代日本のアニメーション＜日本のアニメーション大特集の内の 4 プログラム＞（上映）

中ホール 8/20、8/22

日本の短編アニメーションの「今」を示す優れた作品を紹介。

サブイベント、展示、ワークショップ等

■エデュケーショナル・フィルム・マーケット（入場無料）大会期間中

1 階 市民ギャラリー

世界で唯一、学校・学生・企業を結ぶユニークなマーケット。アニメーション専攻のある日本の大学や専門学校が出展し、学校紹介や学生作品の上映を行います。世界の学生作品を閲覧できる視聴コーナーもあります。他にもクリヨウジ展、木下蓮三展など。

特集2

文化庁メディア芸術祭広島展 *Hiroshima*Media Arts

2016年8月13日(土) - 9月2日(金)



第18回アート部門優秀賞『センシング・ストリームズ』坂本 龍一／真鍋 大度
©SAKAMOTO Ryuichi / MANABE Daito
Photo: Keizo Kioku, Courtesy of Sapporo International Art Festival Executive Committee

最新の受賞作を一挙に紹介

広島にメディア芸術の夏 到来！

アート・エンターテインメント・アニメーション・マンガの4部門において優れた作品を顕彰する「文化庁メディア芸術祭」の地方展がこの夏、ついに広島へやってきます。旧日本銀行広島支店をメイン会場とし、最新の受賞作品を中心に、約165点の展示が行われます。たくさん見所がありますが、中でもアートとエンターテインメントの境界を横断し、テクノロジーを駆使した表現で注目を集めるデジタル集団「ライゾマティクス」による展示は特に注目です。彼らがメディア芸術祭で受賞した作品・審査委員会推薦作品に選ばれた作品の全14点が広島で初公開されます。

またサテライト会場となる広島市こども文化科学館「アポロホール」では、インタラクティブなテクノロジーが随所で融合した『正しい数の数え方』(第19回エンターテインメント部門大賞、岸野雄一)を上演。広島在住のマンガ家・西島大介によるキャラクターとともに、観客を巻き込んだ音楽劇が繰り広げられます(8月19日(金) 13:00~14:00、15:30~16:30)。

さらに、同じくサテライト会場である合人社ウェンディひと・まちプラザ北棟6階マルチメディアスタジオでは、『ももへの手紙』(第



第19回エンターテインメント部門大賞『正しい数の数え方』岸野 雄一

©2015 Out One Disc

15回優秀賞、沖浦啓之監督)、『ジョバンニの島』(第18回優秀賞、西久保瑞穂監督)、『たまこラブストーリー』(第18回新人賞、山田尚子監督)、『花とアリス殺人事件』(第19回優秀賞、岩井俊二監督)などの作品が上映されます。

多彩なクリエイターやアーティストが集い、現代を代表する作品を間近で見られる貴重なチャンス。この夏、メディア芸術の世界をお楽しみください！

文化庁メディア芸術祭広島展 *Hiroshima*Media Arts

開催期間 2016年8月13日(土)~9月2日(金) 各日10:00~18:00 最終入館17:30

メイン会場 旧日本銀行広島支店(広島市中区袋町5-21)

サテライト会場 広島市こども文化科学館「アポロホール」(広島市中区基町5-83)

合人社ウェンディひと・まちプラザ北棟6階マルチメディアスタジオ(広島市中区袋町6-36)他

お問い合わせ 文化庁メディア芸術祭広島展開催委員会事務局 080-2936-7231

呉市立美術館 特別展 マンガとアニメで見る こうの史代『この世界の片隅に』展 開催中！

【会期】2016年7月23日(土)～11月3日(木・祝)

前期：7月23日(土)～9月12日(月)

後期：9月14日(水)～11月3日(木・祝) ※一部展示替えがあります。



マンガからは原画 約 450 点や取材ノート、作中で実際に使われた画材など、アニメからは原図、背景美術、レイアウトなど、ここでしか見ることのできないものも含め貴重な展示多数。マンガ、アニメそれぞれの魅力と想像力を体感できる特別展です。

関連イベントもトークショーや講演会など盛り沢山！

詳しくは呉市立美術館サイト⇒<http://www.kure-bi.jp/>

●8/20(土) [トークイベント] 映画『この世界の片隅に』ができるまで

●8/20(土) こうの史代×片瀝須直トークショー

●8/21(日) [講演会] マンガは「あの戦争」の体験をどう描くか

●9/ 3(土) [講演会] ミルクキャラメル物語

●9/17(土) [講演会] この『この世界の片隅に』がすごい！

●9/18(日) [トークイベント] 市民と創るアニメーション映画

●10/1(土) [講演会] こうの史代『この世界の片隅に』を語る (いしかわじゅん)

このほか、学芸員による見どころトークも会期中4回実施。

※事前申込みが必要なイベントもあります。

申込み受付が終了している場合はご容赦ください。

アニメーション映画『この世界の片隅に』

2016年11月12日(土) 公開！

<http://www.konosekai.jp/>

ポップラ劇場 2016 野外上映会

夏の夜、基町の川岸でアニメーション映画が楽しめます！

上映に先立つ 18 時～19 時のイベント 1 の中で、なんと片瀝須直監督がゲストトークに出演予定！

上映作品 第 14 回文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞

『マイマイ新子と千年の魔法』(監督・脚本：片瀝須直)

日時：8月20日(土) 17:30～21:00 頃

会場：基町 POP' La (ポップラ) 通り 広島市中区基町・中央公園西側河岸緑地

参加費 (任意)：大人 500 円

参加の方は申し込みをお願いします

お問い合わせ「ポップラ・ペアレンツ・クラブ」

担当：タカスギ (TEL 070-5021-4355) 受付 18 時～21 時

<http://poplaparentsclub.web.fc2.com/pages/event.html>

Column ー 広島国際アニメーションフェスティバルと私 ー 伊藤 有壱

第 16 回 国際アニメーションフェスティバル広島大会開催、おめでとうございます！

透過光と 35mm フィルム撮影の個人作品「星眼鏡」がコンペインして初めて訪れた 1990 年「HIROSHIMA」大会は、私の予想をはるかに超えた本物の国際映画祭でした！

神々のような敬愛する作家たちが心から映画祭を楽しんでいる様に感動し、私のアニメーション作家としてのスタートがここで始まったのです。

それから毎回来広していますが、作家たちとの交流や、映画祭を支える広島の人々との交流が重なり、「広島が第二の故郷である」と思うまでに大切な存在になりました。

特に忘れられないのは、1994 年大会、英国アードマンアニメーションズのピーター・ロード氏のワークショップでそれまで触れたことがなかった「粘土」と出会い、それがきっかけでブリストルを訪ね、私の代表作とも言える「ニャッキ！」が生まれた事でしょうか。現在東京で開催中の「アードマン 40 周年記念」展でも公式カタログに寄稿させて頂くなど、そのご縁は続いています。

また、2006 年の広島市現代美術館での大規模個展も、多くの広島の方々のご協力に支えられた素晴らしい経験でした。

きっと、参加した作家ごとにそれぞれの大切な出会いがあったのだでしょうね。

その後作品制作を続け、アヌシーやオタワ等海外のフェスティバルも知ることになりましたが、日本には「HIROSHIMA」がある、という誇らしい思いは、常に自分を支えているように思います。

30 周年超の歴史を誇る国際アニメーションフェスティバルとして、世界から注目され続けている「HIROSHIMA」大会。この夏、またコンペティションで火花を散らす新作や、古今東西のジャパンプレミアな作品特集上映、そして何よりそこに集うアニメーションを愛する人々との出会いに期待が膨らみます！

この愛される映画祭を日本の誇りに、長く続いてゆくことを心から祈っています。



伊藤 有壱 Yuichi Ito 第 10 回大会 (2004 年) 国際選考委員

I.TOON Ltd. 代表

日本アニメーション協会理事

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授

比治山大学短期大学部 美術科

映像・アニメーションコース

山村浩二 客員教授

授業進行中！

マンガ・キャラクターコース

客員教授 こうの史代原作「この世界の片隅に」アニメーション映画製作中！

●私たちは広島市と連携して若い才能を発掘育成します●

発行日：2016年8月17日 発行部数：4000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課

編集：NPO 法人広島アニメーションシティ (HAC) デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室

【紙面についてのお問合せ】NPO 法人広島アニメーションシティ事務局

〒739-0321 広島市安芸区中野 6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口研究室内

<http://hac.or.jp> Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています